



1

2

3

4

1. 撮影した場所や経緯を須田市長に説明する青柳陽一さん / 2. 式典では「2004年に保原に戻ってから花を撮るようになった。ライティング方法など私の技術を伝えたい。」と意気込みを語った / 3. プロの作品を間近で味わう / 4. 青柳さんならではの撮影方法で撮られたハスは思わず息をのむ美しさ

「大枝から世界へ」

7月1日㊦、梁川町の旧大枝小学校を利活用した「一般社団法人青柳陽一写真学校」のプレオープン式が行われました。この学校は、数々の企業広告を手がけたことでも知られる保原町出身の写真家、青柳陽一さんが講師を務め、プロカメラマンの育成を目指す専門学校です。開校に向けて、60年にわたる青柳陽一さんの作品が展示されています。写真展は10月30日㊧まで、木曜日～土曜日の10時～16時に開かれています。(お問合せ☎597-6801)

市長コラム



第35回 桃の美味しい季節がやってきました!

夏の到来とともに、伊達の夏を代表する桃がシーズンを迎えました。6月下旬からはつひめの出荷が始まり、その後、日川白鳳^{ひかわはくほう}、暁星^{ぎょうせい}、あかつき^{あわなかしまはくとう}、川中島白桃と9月末まで桃のリレーが続きます。

伊達の桃は、光センサーという選別機で選果しますので、甘さとおしきは保証付きです。そして驚いたことに、7月5日の東京大田市場での初競りで、伊達地区産の「日川白鳳」(特秀16玉、5キロ)が15万円で落札されました。

昨年は数十年に一度ともいわれるせん孔細菌病、そして今年は統計開始以来過去2番目の被害額となった凍霜害と、伊達の桃は2年続けて大きな被害を受けています。それでも農家の皆さんは、今年もおいしい桃を全国の皆さんに届けたいと、被害を受けなかった実を大切に心を込めて育てています。

ところで、甘くてみずみずしくておいしい桃。でも、それだけではありません。桃には、ペクチンやカリウムを多く含んでおり、健康にいいのはもちろん、美容にもダイエットにもお勧めの果物なのです。ペクチンは血行

を良くし、腸の働きを助けます。カリウムは体内の塩分を排出する役割があり、高血圧に効果があります。また、長時間の運動による筋肉のけいれんなどを防ぐ働きもあります。

さて、この原稿はいま北海道に向かう飛行機の中で書いています。おいしい伊達の桃を北海道の皆さんに食べてもらうため、これから札幌市と旭川市でトップセールスをしてきます。そして帰ったらすぐに、東京FMのワン・モーニングという番組に生出演して伊達市と桃のPRをすることになっています。また、7月9日にはふくしまFMでもPRさせてもらいました。

今年の桃の出荷量は、凍霜害の影響で平年より少ない見込みですが、4月以降の天候に恵まれたことで大変よい出来となっています。

農家の皆さんが一つひとつ丹精込めて育てた“伊達の桃”。生産者の思いを全国に届けるため、今年も一生懸命売り込みしていきます。

須田博行